



SESERAGI-MISHIMA Rotary Club

Weekly Report

せせらぎ三島ロータリークラブ週報

2008~2009年度 RI会長 李 東建

RIテーマ **Make Dreams Real** 夢をかたちに

クラブ会長基本テーマ「20年の生業を基に、仲間を増やそう」

会長 大房正治 副会長 山梨一正 幹事 鈴木政則

第941回 例会

2009.2.20 (金) 雨のち晴れ

司会：石井邦夫君 指揮：土屋巧君

ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市大社町17-4

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会



撮影：山本章君

親 睦 例 会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 大房正治君



今日は、久しぶりの親睦例会です。乾杯が控えておりますので、2点だけ話させていただきます。1点は、先日話したトヨタの件です。昨年度の営業利益二兆円から今年度は二千億円の赤字に転落しました。世界同時不況とはいえ、それには何かのカラクリが有るのではないかと？・・・それはガソリン燃料の自動車の成長が止まった現在、自動車はごく当たり前の耐久消費財になり、多くの人は新型モデルを所有したい気持ちがなくなりました。トヨタは時代の変化をさと、3万点の部品を抱えたガソリン型自動車の生産設備の償却を急ぎ、その為の赤字決算なのです。

低公害車の本命はハイブリッド車でなくディーゼル車だという説もありますが電気自動車の時代を近く感じ、こうした分野等早急に先行開発投資へ全力投入する考えです。

もう1点は三島市の緊急経済対策の一環で、一割のプレミアムを上乗せした商品券「あきんどくん元気クーポン」が発行になり、市は2550万円の予算を組みました。千円商品券11枚つづりを1万円で3月28日から4月12日まで販売です。使用期間は5月31日までの2ヶ月間で市内の約2500店舗が対象です。

是非皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

幹事報告

幹事 鈴木政則君

1. 今日は久しぶりの親睦例会です。大いに盛り上げて下さい

2. 3月6日の例会は、8日の日曜日に変更になります。20周年記念事業 除幕式が開催されます。集合場所：源兵衛川 広瀬橋 午前9時集合

■鎌倉古道箱根植林事業■

集合場所 箱根の里 午前9時集合

鎌倉古道と箱根の里にもみじを植林します。

ご家族も是非参加して下さい。

例会は12時30分より 箱根の里で行います。各事業の報告をお願いします。

3. 各クラブより週報が来ています
沼津ロータリークラブ
富士宮西ロータリークラブ

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	32/39	82.05%	34/39	87.18%
今回	31/38	81.58%	会員総数	39名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

太田君、岡君、久保さん、中山君、
望月君、山本良君、米山君

ゲスト

RI2620地区 静岡第二分区

ガバナー補佐 兼子悦三君

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ



委員会報告

地域開発プロジェクト委員会

小林勝君

鎌倉古道植林例会を3月8日、箱根の里で行います。集合は午前9時で、例会の点鐘は12時30分です。服装は作業ができる恰好をお願いします。なお、スコップのある方は持参していただくと大変助かります。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

ガバナー補佐挨拶

R I 2 6 2 0 地区静岡第二分区ガバナー補佐

兼子悦三君

1月25日にはガバナー補佐主催のIMに中村実行委員長以下全員のご協力、あらためてお礼を申し上げます。各ロータリークラブの例会でお礼を申し上げていますが、各ロータリークラブで時宜を得たテーマと開催でよかったとお褒めをいただいています。本日は短い時間です。系統だった卓話はできませんが、ガバナー事務所より特別な連絡は来ていませんので、少し時間の許す限りお話をさせていただきます。

2月3日には伊豆中央ロータリーで、2月18日には長泉ロータリーで、四つのテストを我々経営者の問題として関連させて話させていただきました。

本日は、当クラブには新会員の方もいらっしゃいますので、ロータリー本来の哲学を知っていただくために、ロータリーの基本である「四つのテスト」について話をしたいと思います。

この四つのテストは、1933年に作られたものであります。1954年～55年のRIの会長であったハーバード・テイラーが、世界恐慌のあおりを受けて莫大な借金のため、倒産の危機に瀕していた調理機器メーカーの社長を引き受けることになった時、会社を再建するためには道徳的・倫理的指導が必要だとの考えから、高い

道徳的な水準に基づく会社経営を行い、これが消費者の信用につながり、売り上げを伸ばし、15年後には多額の配当を可能にしたということです。

その四つのテストの原文は次の通りです。

「THE 4-WAY TEST」

- Of the things we think,
say or do
1. Is it the TRUTH?
 2. Is it FAIR to all concerned?
 3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP?
 4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

この四つのテストの日本語訳は
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

上記の四つのテストの日本語訳は手島智健氏の手によるものです。参考に手島氏は日本で最初のRIの理事になられ、なおかつ日本全国一区制のガバナーを務められた方です。

今のこの時代、この四つのテストを作った時代と大変似かよっています。どうか我々もロータリーの基本である職業奉仕の倫理観に基づくロータリー精神を発揮し、手を携え、難局を乗り切っていただきたいと思います。

次回卓話

2月27日（金）12時30分
20周年実行委員会
片野誠一君



司会：山口雅弘君と石井和郎君



ジャンケン勝利の金目鯛



兼子ガバナー補佐挨拶



上手いと思ってみんな歌ってます！